

新規事業採択時評価結果（平成17年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 地方道・環境課
担当課長名：祢屋 誠

事業名	主要地方道長崎南環状線（戸町～田上工区）		事業区分	地方道	事業主体	長崎県
起終点	自：長崎県長崎市戸町 至：長崎県長崎市田上			延長	4.2 km	
事業概要 主要地方道長崎南環状線は、長崎市大浜町の一般国道202号を起点として同市田上の一般国道324号に至る幹線道路であり、長崎外環状線と一体となって都市の環状道路網を形成する地域高規格道路である。戸町～田上工区は、現在整備中の女神大橋と平成16年3月に開通した九州横断自動車道を直結する延長約4km、2車線のバイパスである。						
事業の目的、必要性 長崎市の道路網は地形的要因から一点集中型をしており、市内の幹線道路は慢性的な交通渋滞を呈している。また、高規格幹線道路～港湾間のアクセスが悪く円滑な物流を阻害している。このため、本工区を整備することにより、長崎市中心部に流入する通過交通を分散・導入し都市内交通の円滑化を図るとともに、長崎ICと重要港湾・長崎港の臨港地区を直結し物流の効率化を図り、地域産業の振興や社会・経済活動の活性化を強く支援するものである。						
全体事業費	190 億円		計画交通量	11,300台/日		
費用対効果分析結果	B/C	4.4	総費用	161 億円 （事業費：153 億円 維持管理費：3 億円）	総便益	713 億円 （走行時間短縮便益：667億円 走行費用減少便益：38億円 交通事故減少便益：8億円）
感度分析の結果 交通量変動：B/C=4.59(交通量+10%) B/C=4.27(交通量-10%) 事業費変動：B/C=4.93(事業費+10%) B/C=4.03(事業費-10%)						
事業の効果等 円滑なモビリティの確保（環状道路形成による都市圏の渋滞緩和） 物流効率化の支援（九州横断自動車・長崎ICと重要港湾・長崎港のアクセス向上） 他7項目に該当						
関係する地方公共団体等の意見 長崎市をはじめとする関係自治体（現・長崎市）は、長崎南部地域の活性化には本路線の整備を欠くことができないと考えており、長崎外環状線道路建設促進協議会から毎年早期整備の要望が国土交通省と本県になされている。						
事業概要図 位置図						

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。